

精神科認定看護師

(認定機関)

日本精神科看護技術協会

(目的)

1. 精神科の専門分野において、優れた看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践できる精神科認定看護師を社会に送り出す。
2. 看護現場における精神科の看護ケアの質の向上を図る。

(期待される能力)

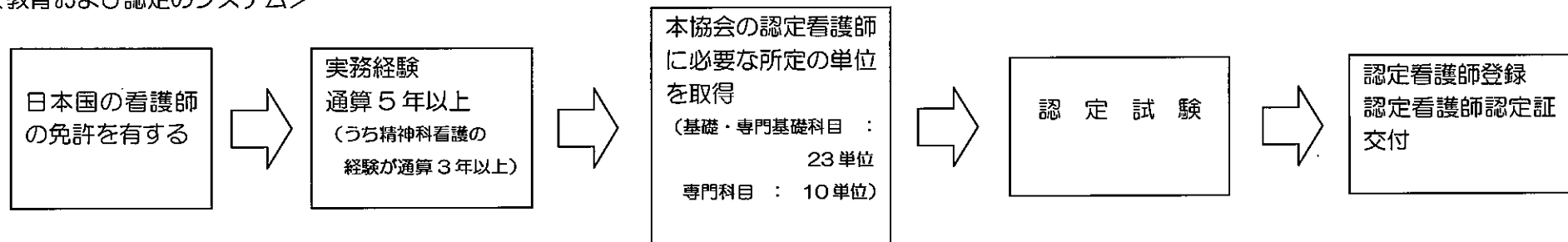
1. 精神科の認定看護分野において、すぐれた看護実践能力を用いて、適切な看護を行う。
2. 他の看護分野に対して相談に応じる。
3. 精神科の認定看護分野において、関係する医療チームと共同して、質の高い看護実践を行う。
4. 精神科の認定看護分野において、看護技術の知識の集積に貢献する。

(認定分野及び認定者数)

平成 17 年 10 月現在

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 精神科救急・急性期看護 | 14 人 |
| 2. 精神科リハビリテーション看護 | 25 人 |
| 3. 思春期・青年期精神科看護 | 12 人 |
| 4. 老年期精神科看護 | 8 人 |

<教育および認定のシステム>



精神科救急・急性期看護 教育カリキュラム

	科目名	内 容	単位					
基礎・専門基礎科目 23 単位	精神科看護学	歴史と今日的課題 看護倫理 援助論 看護過程	2					
	精神機能論Ⅰ	知覚 意識 思考 情緒 認知	1					
	精神機能論Ⅱ	精神機能発達論	1					
	人間関係論	人間関係 対人関係論	1					
	看護理論	理論の基礎概念 理論の発達史	1					
	看護倫理	インフォームド・コンセント 患者の人権	1					
	看護研究	目的 方法 論文作成 文献検索 情報処理 研究指導	2					
	看護サービス論	看護管理 看護サービス	1					
	リーダーシップ論	職場のリーダーシップ	1					
	教育論	教育原理 指導方法論	2					
	グループアプローチ論	グループ理論 体験過程	2					
	コンサルテーション論	コンサルテーション リエゾン活動	1					
	精神疾患論	精神医学診断分類と症状論	1					
	精神薬理学	向精神薬と副作用の管理	1					
	家族システム論	システム理論と家族療法	1					
	精神科看護	実践事例検討	2					
社会福祉論	社会福祉論	1						
地域精神科看護論	地域生活支援 ケアマネジメント	1						
専門科目 10 単位	精神科救急・急性期看護概論	精神科救急・急性期における看護者の役割と機能について学ぶとともに、救急体制とそのシステムを理解する。	1					
	精神科救急・急性期看護対象論	危機的状況における患者および精神科救急・急性期における精神症状や状態像を学び、急性期の患者への理解を求める。	1					
	精神科救急・急性期看護援助論	精神科救急・急性期における患者および家族に対する看護援助の特徴について学ぶとともに、危機的状況、意識障害、自傷・他害等の問題行動、物質常用障害等に関する理解を深め、それぞれの状況に対する援助技術を修得する。	1					
	精神科救急・急性期看護実習	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">文献学習</td> <td>危機的状況、意識障害、問題行動、物質常用障害等の患者に対する看護について文献を検討し、実習計画書の提出時に最低10文献のリストを含むレポートを提出する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 習</td> <td>危機的状況にある患者、意識障害のある患者、問題行動のある患者、物質常用障害の患者等救急・急性期の患者に対する看護について継続検討する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">専門学会発表</td> <td>上記実習において、継続的に援助を行った事例を事例研究にまとめ、学会発表までのプロセスを体験する。</td> </tr> </table>	文献学習	危機的状況、意識障害、問題行動、物質常用障害等の患者に対する看護について文献を検討し、実習計画書の提出時に最低10文献のリストを含むレポートを提出する。	実 習	危機的状況にある患者、意識障害のある患者、問題行動のある患者、物質常用障害の患者等救急・急性期の患者に対する看護について継続検討する。	専門学会発表	上記実習において、継続的に援助を行った事例を事例研究にまとめ、学会発表までのプロセスを体験する。
文献学習	危機的状況、意識障害、問題行動、物質常用障害等の患者に対する看護について文献を検討し、実習計画書の提出時に最低10文献のリストを含むレポートを提出する。							
実 習	危機的状況にある患者、意識障害のある患者、問題行動のある患者、物質常用障害の患者等救急・急性期の患者に対する看護について継続検討する。							
専門学会発表	上記実習において、継続的に援助を行った事例を事例研究にまとめ、学会発表までのプロセスを体験する。							

総時間数

604時間